

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所CoCoRear		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ベテラン職員と子どもたちとの深い関係性	長年の関わりを活かし、子どもの特性や変化を丁寧に把握して支援に反映している。 家族的な雰囲気大切に、安心して過ごせる環境づくりを意識している。	子ども自身が「自分の思いを伝えられる関係性」を広げるためのコミュニケーション支援を強化する
2	特別支援学校に特化した事業所	学校との連絡が取りやすい環境を活かし、日々の様子や課題について迅速に情報共有を行い、支援内容に反映する体制を整えている。	学校の教育内容と事業所の支援内容を整理し、双方の役割分担を明確化することで、利用者の成長を継続的に支える仕組みを強化する。
3	利用者に高校生が多い事業所である点	高校生の興味や進路に合わせた活動（余暇・生活スキル・就労準備）を提供	地域資源（企業・福祉サービス）との連携を強め、社会参加の機会を広げる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期利用者が多く、新しい人間関係が生まれにくい点	利用者が固定化しており、関係性が安定する一方で新しい刺激が少ない	利用者が固定化しており、関係性が安定する一方で新しい刺激が少ない
2	人間関係や社会性の広がりに関する課題	利用者が固定化しており、関係性が安定する一方で新しい刺激が少ない。 社会性を育む“挑戦の機会”が限定されやすい	地域の公共施設や店舗、福祉団体と連携し、外出活動や社会参加プログラムを定期的実施することで、多様な人との関わりや社会的経験を広げる。
3			